

介護実習

教科名	福祉	単位数	2単位	学科・学年	普通科 2年 キャリア（就職）
教科書名	なし			出版社名	なし
副教材等	介護職員初任者研修テキスト1・2			出版社名	中央法規
科目目標	介護に関する体験的な学習を多様な介護の場において行い、知識と技術を統合させ、介護従事者としての役割を理解させるとともに、適切かつ安全な介護ができる実践的な能力と態度を育てる。				
到達目標 (検定目標)	社会福祉に関する基礎的・基本的な知識と技術を総合的、体験的に習得させ、社会福祉の理念と意義を理解させる。地域の社会福祉施設との連携を図り、高齢者や障がい者の心身の状態に応じた日常生活における介護を扱い、実践的な態度を育てる。				
成績評価	成績評価は、実技や作業の取り組み、集中講義の内容に対しての姿勢やレポートなどの課題の評価を基準に行い、または、授業での取り組みも含めて点数化を行う。				
評価規準	関：関心・意欲・態度 思：思考・判断 技：技能・表現 知：知識・理解				

授 業 計 画

月	授 業 内 容	授 業 目 標	評価の観点			
			関	思	技	知
4	福祉施設の説明① (グループホーム・老人ホーム 特別養護老人ホーム)	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉施設の概要や主な業務内容について知る。 社会福祉サービス利用者や施設職員などとの適切な人間関係の構築と事故防止や保健衛生に関する知識を身につける。 				
5	福祉施設の説明② (ショートステイ・デイサービス)	<ul style="list-style-type: none"> 車いすの基本的な操作の仕方について理解する。 				
6	車いすの基本的な操作の仕方	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉サービス利用者の心身の状態に応じた日常生活における介護について理解する。 				
7	施設利用者との接し方	<ul style="list-style-type: none"> 食事の介助、身の周りの用度の取り扱いについて学ぶ。 	●	●	●	●
7	コミュニケーション技術	<ul style="list-style-type: none"> 福祉サービス利用者との接し方について、レクリエーションを実践し、コミュニケーションをとりながら交流することにより理解を深める。 福祉機器の取り扱いについて学ぶ。 				
		<ul style="list-style-type: none"> 介護におけるコミュニケーション論 医療との連携 老化に伴うこころとからだの変化 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 障害の基礎的知識 				

10	福祉・擬似体験 視覚障がい 車椅子介助	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉サービス利用者の心身の状態に応じた日常生活における介護について理解する。 ・介助方法の学び直しを行い、実習での半生を活かしていく。 					
11	ベッドへの移動	<ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーションの計画・実施を行い、コミュニケーションをとりながら交流することにより理解を深める。 	●	●	●	●	
12	「個別実習」 シーツ交換 レクリエーション						
1	介護職員初任者研修	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職員についての考え方やこれまで学んできたことを復讐することで、より介護職員への意欲づけを行う。 ・試験対策を実施することで、受験者全員が合格できるようにする。 					
2	資格試験に向けた講義 試験対策		●	●	●	●	
3	介護職員初任者研修資格試験						

【履修上の注意およびワンポイントアドバイス】

- ・実習することにより、知識・技術が身につくので、毎時間きちんと出席するように心がけましょう。
- ・実習着・実習靴を忘れないようにし、毎時間積極的に実習に取り組みましょう。
- ・実習記録簿には、実習の手順、コミュニケーションの内容、感想・反省点など具体的に記入し、きちんと期限内に提出しましょう。
- ・入居されている方は、人生の大先輩なので敬意をもって接しましょう。